

## 第5学年1組 道徳科指導案（キャリア教育）

- 1 主題名 本当の自由  
内容項目 C 自律、自由と責任  
題材 「うばわれた自由」（出典：日本文教出版「生きる力 5」）

### 2 主題設定の理由

#### (1) 主題について

本主題の内容項目【A 主として自分自身に関すること（1 善悪の判断、自律、自由と責任）】は、自分の自由な意思によって生活することは、社会的責任や他者への影響を自覚して判断し行動するという自律性が伴っていなければならないものであると考える。

誰からも束縛されず、解放されて生きることを望むのは、人間の本質的な欲求の一つである。けれども、人間はどの発達段階にあっても、社会を構成する一員として、何らかの集団に属することになるため、自由を求めながらも、「規律・決まり」を守って行動することを求められる。

自由だから何をしてもよいということではなく、一定の制約の中で選択できる自由を謳歌し、自らの意思で明るく前向きに生きる態度を育んでいきたい。

#### (2) 児童の実態について

本学級の児童は、自由を「学校生活の中で何かに捕らわれず、したいことができるもの」と捉えている傾向が強い。身勝手はよくないと考える児童もいるが、少数である。その結果「今」すべきことに集中して取り組むことが身に付いていない言動が目立つ。

集団の人数が増えると、互いの心地よさを担保するために「規律・決まり」が生まれる。それらは本来、自由を束縛するものではないはずである。しかし児童は、「してはいけない」「やったら叱られる」からと心理的制限のように「規律・決まり」をマイナス要因として捉えている。

業間休みや昼休みは、自由だと感じる児童が多いが、実際は「ボールを蹴って遊んではいけない」「お互いに場所を譲りながら遊ぶ」「ボールを使ってよい場所、使ってはいけない場所」というように「規律・決まり」がある中で、自由を満喫しているのである。

そこで、本題材では、自由とは身勝手な行動を容認するものではなく、集団を構成するメンバーが相互の心地よい生活を守り合うことだと気付かせ「してはいけない」「やったら叱られる」からでなく、「自分の自由も、相手の自由も尊重する」という主体的で自律的な意思に基づく道徳的心情を育んでいきたい。

本校では、「よさに気付く力」を次のように定義している。

①自分のよさに気づき、今後の成長のために進んで学ぼうとすることができる。

②集団生活の中で自らの感情を律し、主体的に行動することができる。

また、高学年の具体的な目標は下記のとおりである

「自分のよさに気づき、生かそうとすることができる」

調査名：「キラキラと輝く人生をつくるために！」実施日：7月10日 対象者：5年1組34名

**【質問】〈よさに気づく力〉**

「これからの自分の成長のために、進んで学んでいこうとする気持ちがある」

肯定的な回答をしている児童 74%

否定的な回答をしている児童 26%

これは教科、生活の中で児童のよい姿、望ましい行動を具体的に価値付けて褒めたことが、児童の向上心を高めているのだと考える。しかし、26%の児童は自己の未来に向けて前向きに考えることができないとも分かった。こちらは、今の学びが自己の将来と接続できていないと考えられる。目標となるゴール像を個人・学級ベースで作りに上げていくことが必要だと分かった。

**【質問】〈よさに気づく力〉**

「自分の感情をコントロールして「今」すべきことに集中することができる」

肯定的な回答をしている児童 64%

否定的な回答をしている児童 36%

これまで見通しをもって学級生活を過ごせるように工夫をしてきた。例えば、1日の時間割の流れをホワイトボードに示すことや、授業中に課題が複数ある場合に、予めナンバリングして具体的に指示を出す等である。しかし、36%の児童が否定的な回答をしているのは、感情が優先され、自分のしたいことをしたり、周りの児童に流されてしまったりすることが原因だと考えられる。そこで、「規則の尊重」の題材を取り扱い、集団生活の中の決まりを遵守することが、落ち着きがあり、心地よい学級生活を作る土台であることに気付かせ、自らを律する力を育ませていきたい。

(3) 教材について

王子という身分を理由に、国で定められた森の禁猟を破り猟銃で狩りをしていたジェラル王子に番人のガリユが身勝手だと征する。しかし、それに腹を立てガリユを牢に閉じ込め、その後も好き勝手な王政を執り、臣下も王子のようにはき違えた自由を行ってしまい、反乱を起こして王子を幽閉し、ガリユと再会することとなる。自分の身の振る舞いを聞き入れておけばよかったと後悔し、ガリユとともに本当の自由を見つけ、大切にしていこうという物語である。

3 道徳科におけるキャリア教育の視点

(1) キャリア教育の重点と実態

現代の子供たちが成人して社会で活躍するころ、我が国は生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などにより、社会構造の複雑化、雇用形態の多様化が急速に進むと

されている。これまでの通説や常識が改められ、新たな価値観の下で生き抜いていかなければならない。そのような時代の中でも児童一人一人が、社会の変化に主体的に向き合い、自らの可能性を発揮させ、多様な他者と協働して、よりよい社会と幸福な人生を切り拓く未来の創り手となることができるよう、児童の生きる力を育てていかなければならない。

しかし、小学校段階にある児童にとって大人・社会人となる自己像は遠い未来の話であるため、どこか他人事のように捉えている児童が多い。今の生活や学びが将来に繋がっていると自覚しにくいため、自分の未来のために主体的に行動するのが困難であると考えられる。だからこそ、児童が自己の未来について自分事として考え、キャリア発達を促していくキャリア教育の重要性は高いと言える。そのためには、各教科の単元の中に隠されたキャリア教育の芽を見付け出し、日々の学習・生活の中から児童自らが将来に繋がっている、役立つ力だと気付いていくことが重要となる。さらに、学級活動（3）を要に「なりたい自己像」を具体的に描き、実践し、振り返る活動を繰り返すことで、自己の成長を自覚していくことも大切だと考える。

そこで、本題材を通して、基礎的・汎用的能力の内の「自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画する」に該当する社会形成能力に焦点を当てて授業を構成したい。集団生活の中で、今すべきことに集中したり、穏やかに学級生活を送ったりするためには、自らの置かれている状況を見つめて、協調しようとする力が重要である。本題材では、ジェラルド王子が自由と主張したものは、身勝手に我儘な行為であることに気づかせ、本当の自由とは何か全員で考えていく。なぜ、周囲の人間のことも考えなければならないのか、なぜ好き勝手に振る舞ってはいけないのか考えることで、身勝手な行為は、周りのもとより、引いては自分自身の自由や心地よい生活を侵害することに繋がるものだと気付かせていきたい。また、一定のルールの中で自分の願いを叶えていくことが、自分の自由も他者の自由も担保するものだと気付かせ「調和のとれた自由を守っていこう」と自らを律する道徳的心情を育てていく。このように指導終盤では、集団の中での自分自身の行為に目向け、他者と協調していくための自制心を養う力を高めていけるだろう。

## （2）主題に迫るための手立て

### ①キャリアマークの活用

自己の未来に主体的に考えるためには、基礎的・汎用的能力の高まりを自覚することが必要となる。本実践だけでなく、日常生活や学習の中でキャリアの芽に着目させることで、現在と未来を意義あるものとして理解できるだろう。そこで基礎的・汎用的能力の4つの力をマグネットマークにして、教科、各行事、学級生活の中で取り入れていくことで気付かせていきたい。

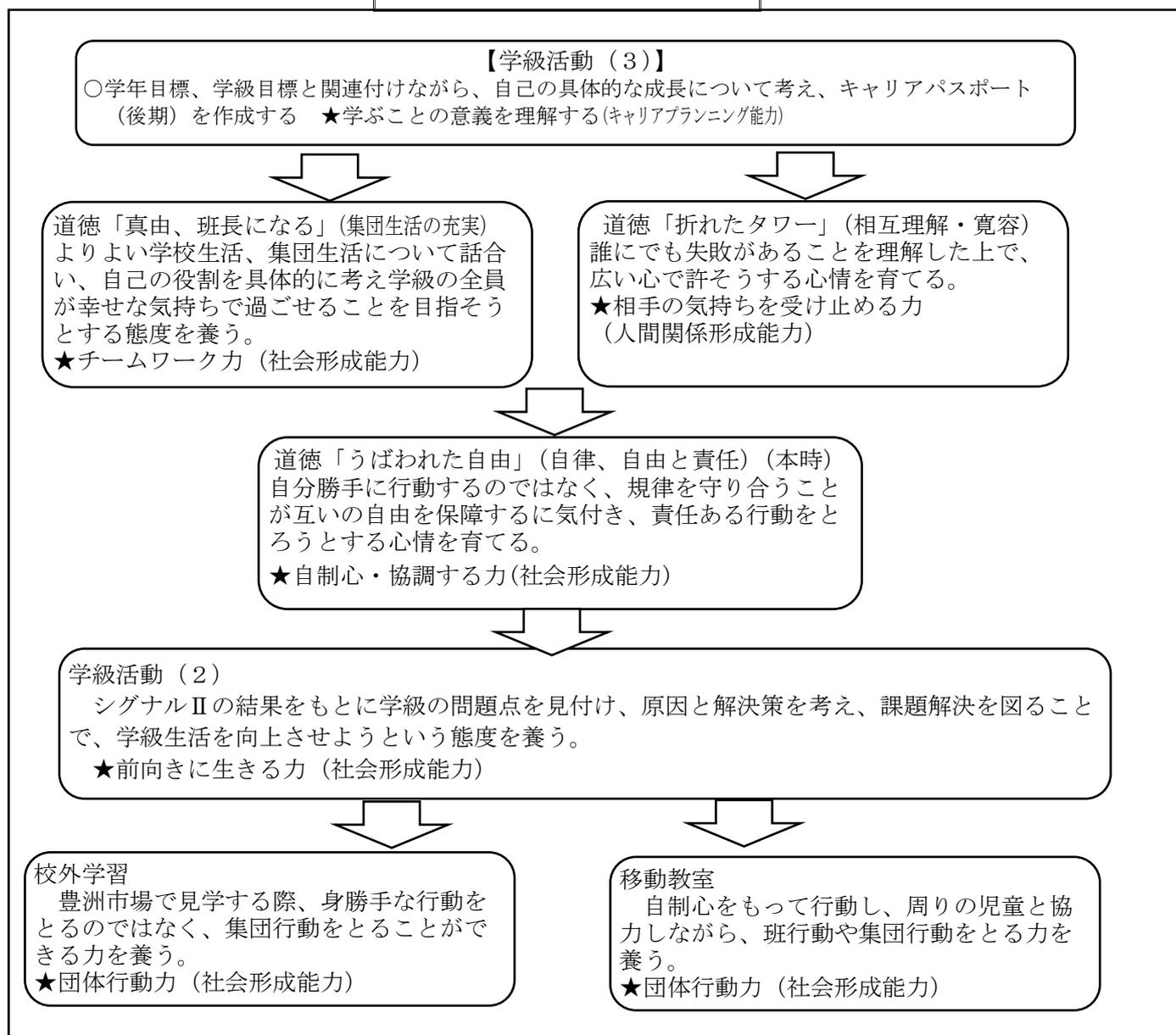
### ②目標設定と振り返り

学級活動（2）では学級の問題に目を向けて話し合ったり、（3）を通して「なりたい姿」を考えたりする授業を定期的に行う。学級で目指すキャリア教育の力や学級目標に照らし合わせながら、目標を設定したり、振り返ったりすることを繰り返すことで、自己指導能力を高めることが

できると考える。自己の未来と現在の自分の姿を見つめ直すことで自らを管理し、高めていこうとする意欲を持続させていきたい。

(3) 指導構想

本当の自由



4 本時

(1) ねらい

- 自分の自由も、相手の自由も尊重し、調和のとれた自由を大切にしようとする態度を養う。
- 集団生活において、周囲の人のことを考えて振る舞ったり、自らの言動を律したりすることが大切だと分かる。(社会形成能力)

(2) 展開

過程	学習活動と発問 (○)	教師の支援 (○) 評価 (◆)
導 入 10 分	<p>1 本時のキャリアの力について知る。</p> <p>2 自由のイメージのイラストを見て、自由に対する考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・したいことをすること</li> <li>・好きなことをしたいときにすること</li> <li>・でも何でもやっていいってことではない</li> <li>・好きなことを好きなだけできるから楽しい。</li> </ul>	<p>○キャリア教育で身に付けるべき4つの力を示した掲示物と、キャリアマークを活用することで、本時のねらいを掴んで学習に臨むことができるようにする。</p> <p>○イラストをもとに自由のイメージを考えたこと、自由の価値観を揃えることができるようにする。</p> <p>○自由がいいと思う根拠を発言させることで、題材の主人公の心情に寄り添えるようにする。</p>
展 開 25 分	<p>2 範読を聞き、ジェラル王子の気持ちについて考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">したいことをしたいようにするジェラル王子の気持ちがわかる。</p> <p><b>【賛成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことをしている時間は楽しいから少し気持ちがわかる。</li> <li>・だって、自分はゲームが好きだから、したいときにゲームができれば、楽しいから。</li> <li>・好きなことができないとつまらないから。</li> <li>・我慢するっていうことが自由な感じがしない。</li> </ul>	<p>○児童が考える自由をしすぎてしまったが故にその責任を負うことになってしまった物語について考えることで、児童が考える自由がなぜよくないのか考えるきっかけをつくる。</p> <p>○物語の前半の部分だけのプリントを配布し、ジェラル王子の自由に共感できるか考えさせる。</p> <p>○本時のテーマについて自分の立場を決め、自画像を黒板に貼り、その根拠をノートに書かせる。</p> <p>○立場の異なる人とペアを組み、意見を戦わせることで、相手の立場の理解と反論</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・だってやりたいって思ってやれるから自由なんだと思う。</li> <li>・自由がない人生はつまらないから。</li> </ul> <p><b>【中間】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由にしたい気持ちもわかるけど、何でも自由にしちゃうと周りの人にも迷惑がかかってしまう。</li> <li>・我慢も必要だし、自由も必要だから。</li> <li>・何でも我慢するんじゃないで、したいこともできるようにしないと、苦しいから。</li> </ul> <p><b>【反対】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きだからって、何をしてもいいわけじゃない。</li> <li>・だって王子みたいに好き勝手やったら、世の中が荒れちゃうから。</li> <li>・周りの人の迷惑になるから。</li> <li>・やりたい放題やるのは我慢だから、我慢するのは当然だと思う。</li> <li>・ジェラルール王子の真似をして好き勝手にする人が増えちゃうから。</li> <li>・自由にやりすぎると、逮捕されちゃうから。</li> </ul> <p>3 本当の自由とは何か考える。</p> <p>◎ <b>いい自由と悪い自由の境界線（違い）</b> <b>はなんだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決まりを守っていたらいいんじゃないかな？</li> <li>・なんでもありって言うわけじゃなくて、決められた範囲の中で自由にやっ ていいんだと思う。</li> <li>・我慢をしないといけないときもあるけど、周りの人を考えて、やりたいことをやればいいんじゃないかな。</li> </ul>	<p>ができるようにする。</p> <p>○頭では、身勝手はよくないと分かりつつも、自由を楽しみたいと思っている気持ちに寄り添う側と身勝手はよくないと考える側に分かれて意見を出し合うことで、ジェラルール王子の行為の基になった心を探ることができるようにする。</p> <p>○立場を決めて自画像を黒板に貼らせることで、誰がどの立場で発言しているか瞬時に分かるようにする。</p> <p>○本当の自由とは何か探るための問い返しを多く用意することで、本時の主題に迫れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェラルール王子はどうすればよかったのか？</li> <li>・我慢するということは、自由なんても のはないんだね。</li> <li>・ちょうどいい自由ってどういうこと？</li> <li>・やりたいと思って自由にふるまっちゃ いけないの？</li> <li>・迷惑にならなきゃ好き勝手にやっ ていいの？</li> <li>・なんで好き勝手にやったらいけないの？</li> <li>・いい自由と悪い自由の境界線は何？</li> <li>・ジェラルールはどうしたらよかったの？</li> <li>・わがままをしないってことは我慢する ことじゃないの？</li> <li>・我慢をするって楽しくないよね？</li> <li>・我慢しない自由ってなんだろう？</li> </ul> <p>○児童の発言を言い換えたり、図や矢印で整理したりすることで、思考が整理されるようにする。</p>
---	--

<p>終 末 10 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本当の自由ってというのは、身勝手にすることでも、我慢することでもない。</li> <li>• 人間は、絶対に人と関わって生きていくものだから、周りのこととか、決まりを考えた中で、やりたいことをやったらいいと思う。</li> </ul> <p>4 本時を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の自由も、相手の自由も尊重し、調和のとれた自由を大切にしようとしている。道徳的实践意欲と態度（発言、ノート）</li> <li>○①これまでの考え、②今日の学び、③これからの生き方の流れで振り返ることで、将来への展望を書けるようにする。</li> <li>◆集団生活において、周囲の人のことを考えて振る舞ったり、自らの言動を律したりすることが大切だと理解している。 (社会形成能力)（発言、ノート）</li> </ul>
-----------------------------	--	--